



## 実験科学 卒業研究発表会

3月3日(月)

本校独自の教科であるシナジー。そのなかの実験科学では、実験や観察、体験を重視し数学・理科の知識をいかしながら、「なぜ？」を科学的に追究する力と課題を解決する力を養うために授業が形成されています。

1年では、ストローロケット、2年ではエッグドロップを中心に進めています。最終学年では、自らが不思議に感じる科学的分野の疑問を自身のペースで実験や観察を進めていきます。長時間をかけて継続してきた結果をスライドとレポートにまとめ、さらにスライドを用いての発表を後輩に向けて行いました。

8分間という限られた発表時間のため、これまでの過程や結果などをまとめる作業の進捗状況は人それぞれだったことでしょう。しかし、自身の努力の積み重ねや丁寧に取り組んでいたからこそ精査することが困難だったと感じた15期生もいたはずです。

何事も日頃の頑張りの積み重ね、有名な言葉で表現すると「継続は力なり」。卒業研究のみならず、他分野での学習面や生活面においても日々の時間を大切にしてください。

下記は一部15期生のテーマ

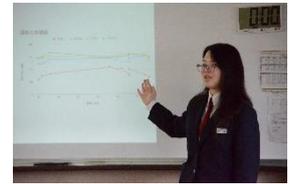
哺乳類の糞による微生物燃料電池

飲料水の酸濃度と菌の増殖の関係

豆苗の再生栽培の質向上

紙飛行機の種類と角度による飛距離と滞空時間の考察

強化シャボン玉の製作



## すごろくレクリエーション

3月4日(火)・6日(木)

生徒会役員が企画したレクリエーションが、昼休みに1年教室にて実施されました。さまざまなことに気を配り、仲間達への感謝の気持ちを込めて計画しました。

初日の参加者は約30名。各々のグループで双六を振り、持参した消しゴムをマス目の上で動かして、内容を読み上げていました。マス目の内容も生徒会役員のみなさんが本校オリジナルのメッセージを考えました。



今回の取組は、生徒会役員が主体的に企画し、実施されたものです。来年度の新生徒会役員のみなさんにおいても、“どのような学校生活にしたいのか”を念頭に入れて前向きに生徒会活動を進めることを大いに期待しています。

## 春休みにできること～4月8日からの始まりに向けて～

新2・3年生になる前に“できること”は何でしょうか。逆に“すべきこと”と考えると宿題を真っ先に思い浮かべる人が多いかも知れません。日頃できない家での大掃除や、心身ともに軽やかになる散歩などの身体を動かすアクティビティも良いですね。新高1生となる15期生のみなさんは、進路講演会でのお話を念頭にいれて新生活の準備を進めてください。休み明けに113名全員に笑顔であえることを楽しみにしています。